

日本語学会第 143 回大会 プログラム

会 長 影山 太郎
大会運営委員長 遠藤 喜雄
大会実行委員長 上田 功

期 日： 2011 年 11 月 26 日（土）、11 月 27 日（日）

会 場： 大阪大学豊中キャンパス 大学教育実践センター（〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-16）

Tel/Fax： 06-6850-6069（大会実行委員長）

Email： 2011gengogakkai@gmail.com（大会実行委員長）

共 催： 大阪大学大学院言語文化研究科

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮ください。

※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙は禁止されています。

— 第 1 日（11 月 26 日） —

10:30-12:30	評議員会（評議員の方はご出席ください。）	言語文化研究科 新棟 2 階大会議室
12:00-	受付・大会予稿集販売	大学教育実践センター B 棟 1 階
13:00-18:00	口頭発表（詳細は 2-3 ページにあります。）	大学教育実践センター B 棟 1・2・3 階
18:15-20:00	懇親会	学生交流棟カフェ & レストラン「宙(sora)」

— 第 2 日（11 月 27 日） —

10:00-11:40	ワークショップ（詳細は 4 ページにあります。）	大学教育実践センター B 棟 1・2 階
11:45-13:00	ポスター発表（詳細は 4 ページにあります。）	大学教育実践センター B 棟 2 階ホール
13:15-13:30	会長挨拶・開催校挨拶（江口太郎理事・副学長） 日本語学会論文賞授賞式	大阪大学会館
13:30-15:55	公開シンポジウム「活用論の前線」 司会 仁田 義雄（大阪大学） ・活用形から見る日本語の条件節 三原 健一（大阪大学） ・語の活用論から述語の構造論へ —日本語を例とした拡大活用論の提案— 野田 尚史（大阪府立大学） ・分散形態論を用いた動詞活用の研究に向けて 田川 拓海（千葉大学非常勤） ・総 括 仁田 義雄（大阪大学）	

※ 公開シンポジウムはどなたでも参加できます。

口頭発表 (11月26日(土) 13:00-18:00)

	A会場 (B棟 107) 司会：高野 祐二 (前半), 宮本 陽一 (後半)	B会場 (B棟 108) 司会：野村 益寛 (前半), 堀田 優子 (後半)
13:00-13:30	本多 正敏 演算子移動の精緻化と連鎖形成	西牧 和也 統語操作と語彙的緊密性の関係について
13:35-14:05	大滝 宏一, 杉崎 鉦司, 遊佐 典昭, 小泉 政利 カクチケル語における項削除の可否について	大久保 龍寛, 坂本 暁彦 動詞的名詞の前に生起する名詞句のふるまいについて: 「NPの研究」対「NP的研究」
14:15-14:45	前田 雅子 日本語における非顕在的 wh/focus 移動と Relativized Minimality	亀山 里津子 英仏日語における, 否定疑問文に対する応答のゆれ
14:50-15:20	田中 秀治 TP 領域内の Focus Phrase : 日本語 wa 助詞に関する一考察	小川 典子, 野澤 元 現代日本語コ・ソ・アの二層的分析 一現場指示系と観念指示系の分離とその帰結一
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	團迫 雅彦 日本語における名詞句の発達過程と機能範疇	小川 芳樹 近接性を表す日英語の形容詞と前置詞と名詞の文法化についての統語的考察
16:15-16:45	野村 忠央 本当に2種類の to が存在するのか? 一繰り上げの to と制御の to一	小藁 哲哉 身体部位名詞を伴う再帰表現の受動文とその認可条件
16:55-17:25	大関 洋平 否定の種類と統語構造	鈴木 博雄 英語結果副詞の事象完結一時取消機能について
17:30-18:00	Dónall P. Ó BAOILL, Hideki MAKI On the Highest Subject Restriction in modern Irish	森下 裕三 英語の動詞連続構文について

	C会場 (B棟 118) 司会：角道 正佳, 米田 信子 (前半) 小森 淳子, 藤代 節 (後半)	D会場 (B棟 207) 司会：斎藤 倫明 (前半), 滝浦 真人 (後半)
13:00-13:30	サイシャラト (賽希雅拉図) モンゴル語の主題に関する一考察 一定義型主題を中心に一	五十嵐 啓太, 志澤 剛, 三上 傑 「のだ」文と分裂文の派生再考
13:35-14:05	太田 樹 フィンランド語における出格補部の目的語性	久保田 一充 「息子は明日運動会がある」構文一デキゴト存在文と「象は鼻が長い」構文のハイブリッド構文一
14:15-14:45	内海 敦子 タラウド語における結果・継続アスペクトを表す接頭辞 UA- の分析一継続アスペクトとの相違一	赤楚 治之, 原口 智子 「が・の」交替に見られる Theme 主語と Agent 主語の非対称性に関して
14:50-15:20	リズキ・アンディニ インドネシア語における受動文としての ter-構文の意味役割	高井 岩生 動詞の項構造とニ/ニヨッテ受身文
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	佐々木 充文 古典ナワトル語の多重人称標示の形態統語論的解釈	横倉 真弥 授受形式がもたらす発話内効力管理領域におけるポライトネス機能
16:15-16:45	熊切 拓 アラビア語チュニス方言の条件文	佐々木 淳 日本語の知覚動詞と認識動詞における文補語標識の交替について
16:55-17:25	松岡 和美, 南田 政浩, 矢野 羽衣子 日本手話の口型に見られる極性表現	梅野 由香里 完了相を標示するテイタと証拠性表現との関連性
17:30-18:00	神庭 真理子 日本手話の社会的ダイクシス	都築 鉄平 「V ナカッタ」と「V テイナイ」の弁別基準について: タイプ・フォーカスとトークン・フォーカスによる説明

	E会場 (B棟 208) 司会：立石 浩一 (前半), 三間 英樹 (後半)	F会場 (B棟 218) 司会：玉岡 賀津雄 (前半), 酒井 弘 (後半)
13:00-13:30	韓 喜善 (ハン ヒソン) 語頭および母音間における平音・激音・濃音の音響的特徴—談話レベルにおける検討—	黒沢 晶子, 崔 絢喆 オノマトペ音象徴の類像性と慣習性—韓国語擬態語の日本語母語話者による判断から—
13:35-14:05	清水 克正 韓国語, タイ語および中国語話者による日本語閉鎖子音の VOT に関する考察	浅野 恵子 言語流暢性検査による音声語彙生成についての検討—英語, 日本語, アラビア語, タイ語における比較言語による分析—
14:15-14:45	高橋 康徳 上海語陽入声変調における変種の出現分布：形態統語構造との関連性	小泉 政利, 八杉 佳穂, 金 情浩, 木山 幸子, Lolmay Pedro GARCÍA MATZAR, Juan Esteban AJSIVINAC SIÁN SO 語順選好は普遍的か？—カクチケル・マヤ語の聴解実験による検証—
14:50-15:20	藤原 敬介 カドゥー語における緊喉調について	中村 智栄, 新井 学 日本語ガーデンパス文における処理負荷と初分析理解保持の関係性
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	新永 悠人, 小川 晋史 北琉球奄美湯湾方言のアクセント体系	中谷 友美 複合名詞と複合述語文：日本語を母語とする幼児の縦断的観察研究
16:15-16:45	三村 竜之 ノルウェー語 Sandnes (サンネス) 方言のアクセント：アクセントの抽出とその弁別的特徴	石野 尚 多重指定部パラメーターと Φ 素性構成：SLA の観点から
16:55-17:25	今西 一太 アミ語の母音連続と挿入規則	伊藤 益代, 備瀬 優, 矢野 雅貴, 坂本 勉 格標識付き stripping 構文における照応の理解過程—事象関連電位を用いた研究—
17:30-18:00	Hiroki KOGA Affixes' selections of verbal stems/forms	上田 由紀子, 中村 和浩, 橋本 洋輔, 内堀 朝子, 豊嶋 英仁, 木下 俊文 fMRI を使用した日本語の「自分」を含む文の処理に関わる脳活動報告

	G会場 (B棟 307) 司会：宋 在穆 (前半), 彭 国躍 (後半)
13:00-13:30	高地 朋成 他動性の観点から見た現代韓国語の「漢字語+hada/doida」動詞について
13:35-14:05	李 英蘭 韓国語の「-n kes-ita」文の当為性に関する一考察—「-n pep-ita」との比較を含め—
14:15-14:45	高田 祥司 韓国語と日本語東北方言の非動詞述語の時間表現
14:50-15:20	東寺 祐亮 比較相関構文におけるホドの構造と解釈
15:20-15:40	(休憩)
15:40-16:10	井原 浩子 日本語文産出過程における動詞決定の時期—健常者の自発話に見られる助詞の言い誤りをもとにして—
16:15-16:45	Sumiyo NISHIGUCHI Shifty operators in Dhaasanac
16:55-17:25	青柳 宏, 張 楠 中国語複合動詞の分類再考—語彙的アスペクトの観点から—
17:30-18:00	田中 拓郎 後置量化子の意味解釈

■ワークショップ 11月27日(日) 10:00-11:40

A会場 (B棟 107)	ワークショップ1 多言語使用—グアテマラの挑戦— 企画・司会：小泉 政利
	グアテマラの多言語政策とカクチケル語におけるその具体的取り組み 八杉 佳穂
	標準語化への道—カクチケル語の場合— Lolmay Pedro GARCÍA MATZAR
	カクチケル語の完了相 Juan Esteban AJSIVINAC SIÁN
B会場 (B棟 108)	ワークショップ2 Noun phrases in Japanese: Syntactic dependencies and interpretations Organizer and Chair: Masao OCHI
	Classifiers and plural/collective elements in the nominal domain Masao OCHI
	On the internal-structure of the accusative WH-adjunct <i>Nani-o</i> and its implication for Adjunct Condition effects: A preliminary study Yoichi MIYAMOTO
	“Arbitrary” zero pronouns revisited Satoshi OKU
C会場 (B棟 118)	ワークショップ3 使役構文の意味とその拡張—責任の言語学に向けて— 企画：長谷川 明香 司会：西村 義樹 コメンテータ：鷲尾 龍一
	日本語の非典型的な語彙的使役構文 長谷川 明香
	タガログ語の pa- 使役構文と責任 長屋 尚典
	シベ語の動詞接尾辞 -we の多機能性と責任 児倉 徳和
D会場 (B棟 207)	ワークショップ4 等位構造研究の新視点 企画：依田 悠介 司会：松原 史典
	等位構造を導く等位接続詞の発達と文法化 依田 悠介
	移動分析による二重目的語構文の派生と等位構造制約 玉木 晋太
	等位構造内での構文交替—データとその理論的示唆— 工藤 和也
E会場 (B棟 208)	ワークショップ5 日本語と中国語の類別詞に関する認知言語学的考察 企画・司会：陳 奕廷 コメンテータ：西光 義弘
	近年における日本語類別詞の意味構造と体系の変化 吉田 康代, 松本 曜
	日中両言語の類別詞の使用における全体性の影響 游 韋倫, 夏 海燕
	日本語と中国語の借用類別詞の形成メカニズムについて 陳 奕廷
	類別詞の意味拡張パターン—日本語・中国語間にみられる異同— 史 春花, 吉田 康代

■ポスター発表 11月27日(日) 11:45-13:00

B棟2階 ホール	TOKSOZ Levent 日本人とトルコ人大学生の個別外来語に対する受容意識について
	FREGUJA Fulvio アイヌ語における受動文の主観性
	Ashlyn MOEHLE Reflexivity: Semantic extension of English spatial particles and Japanese motion verbs
	綿貫 啓子 非項要素の後置：機能と構造
	田島 弥生, 石崎 俊, 福田 亮子 統語構造が認知傾向に及ぼす影響について—眼球運動測定による検証—
	佐藤 佑 動詞性名詞と機能動詞「する」の共起について

大阪大学豊中キャンパスへのアクセス

阪急宝塚線「石橋」(特急・急行停車) から徒歩約 15 分 ※下記地図参照

西改札口 → 阪大下通り(商店街) → 石橋阪大下交差点 → (大阪大学総合学術博物館の前→
上り坂(阪大坂)) → 石橋門 → 大学教育実践センター

大阪モノレール「柴原」から徒歩約 15 分

改札口 → 正門 → 大学教育実践センター

○「石橋」までの経路

- ① JR「大阪」⇒(徒歩)⇒阪急「梅田」⇒(阪急宝塚線)⇒「石橋」(梅田から急行で約 15 分, 220 円)
- ② 大阪空港(伊丹)⇒(大阪モノレール)⇒「蛍池」⇒(阪急宝塚線)⇒「石橋」(約 15 分, 350 円)

○「柴原」までの経路

- ① JR「新大阪」⇒(地下鉄御堂筋線・北大阪急行)⇒北大阪急行「千里中央」⇒(徒歩)⇒大阪モノレール「千里中央」⇒(大阪モノレール)⇒「柴原」(約 30 分, 560 円)
- ② 大阪空港(伊丹)⇒(大阪モノレール)⇒「柴原」(約 6 分, 240 円)

※タクシー利用の場合 (すべて正門経由: 阪大坂・石橋門はバイク・自転車を含め車両通行禁止)

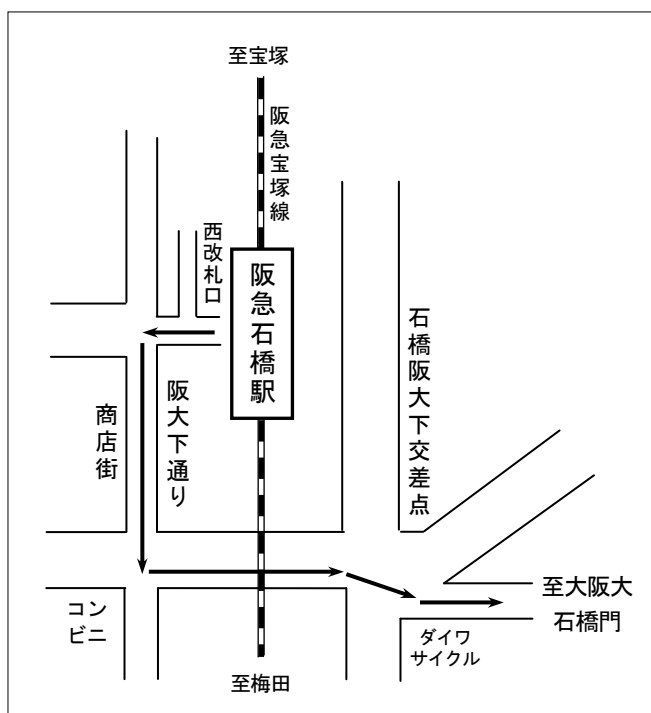
- ① 大阪空港(伊丹)⇒(正門)⇒大学教育実践センター(1,500 円程度)
- ② 阪急「蛍池」(東出口タクシー乗り場)⇒(正門)⇒大学教育実践センター(1,000 円程度)
- ③ 阪急「石橋」(東改札口タクシー乗り場)⇒(正門)⇒大学教育実践センター(1,000 円程度)

・構内に駐車場がありませんので、自動車での来校はご遠慮ください。

豊中キャンパス周辺



阪急石橋駅(西改札口)から阪大下交差点まで



大阪大学豊中キャンパス

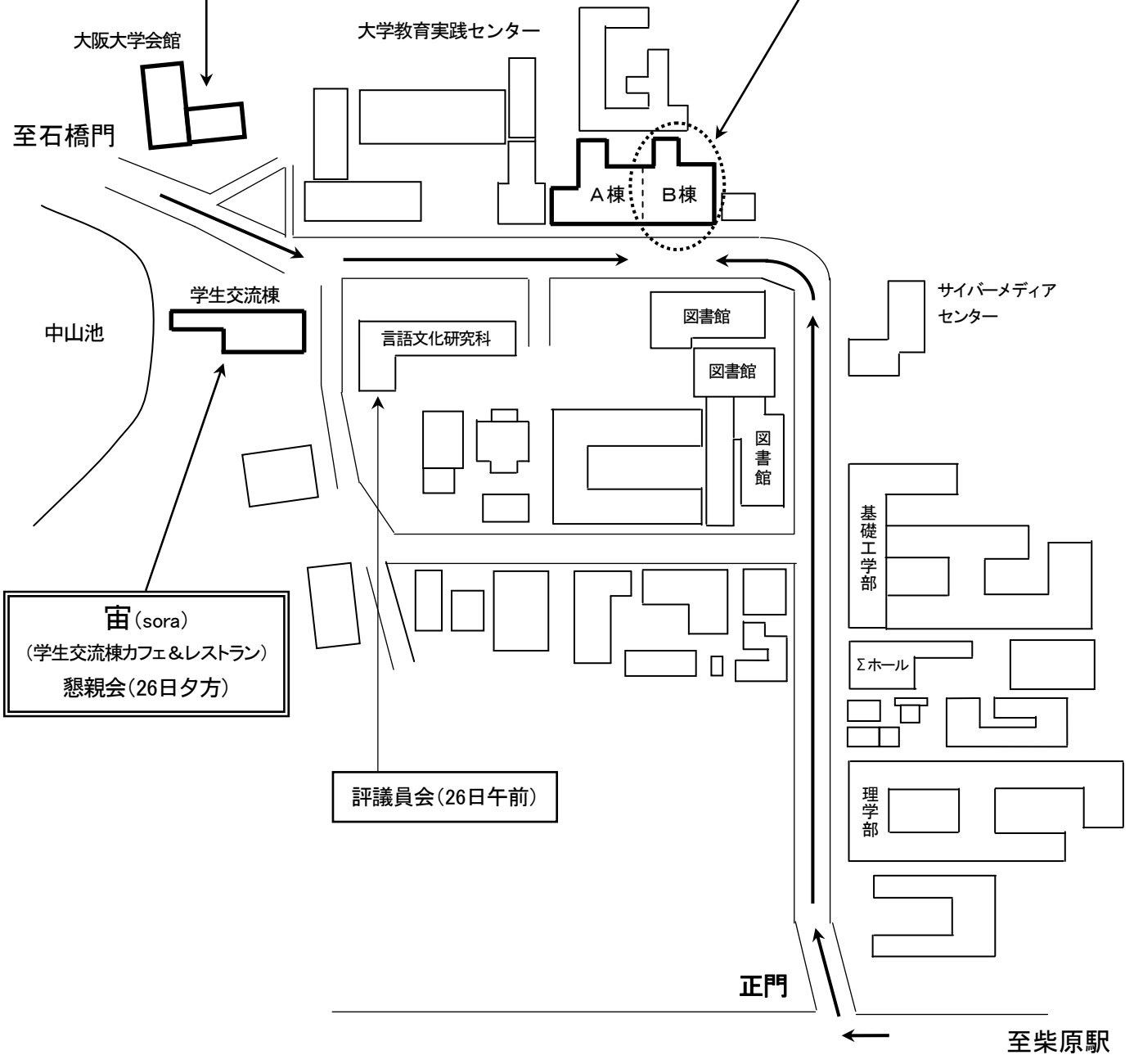
26日(土)午後・27日(日)午前

27日(日)午後

大阪大学会館
公開シンポジウム

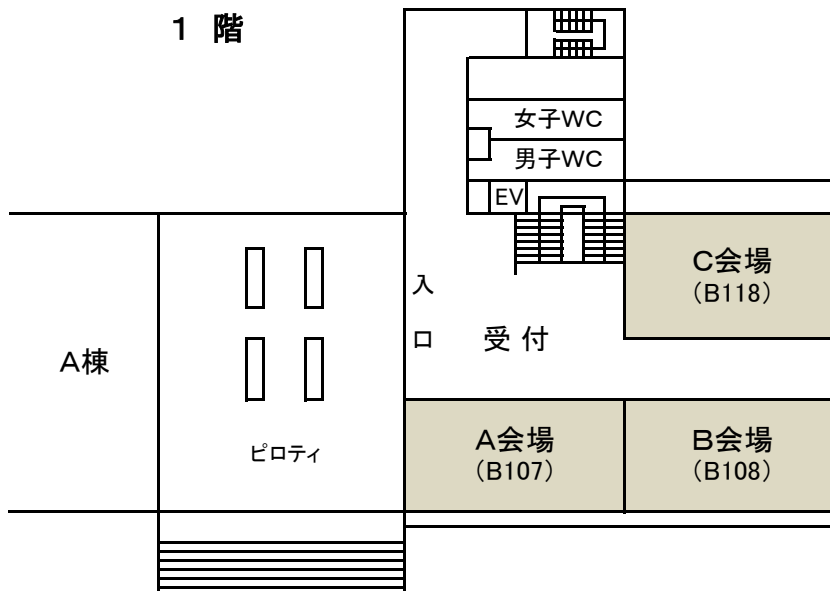
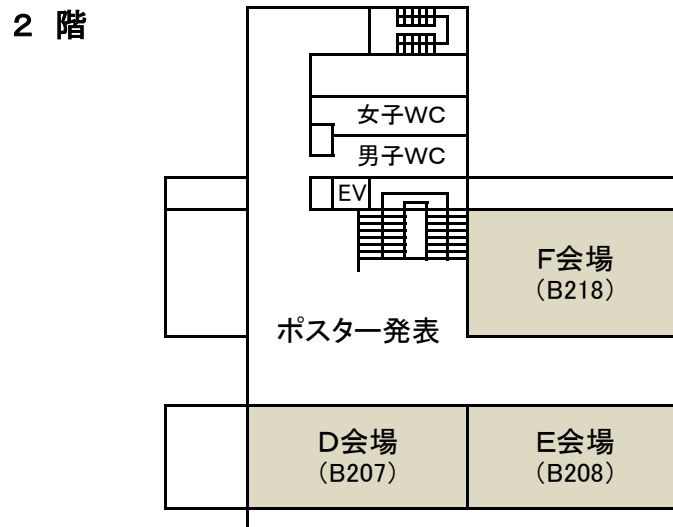
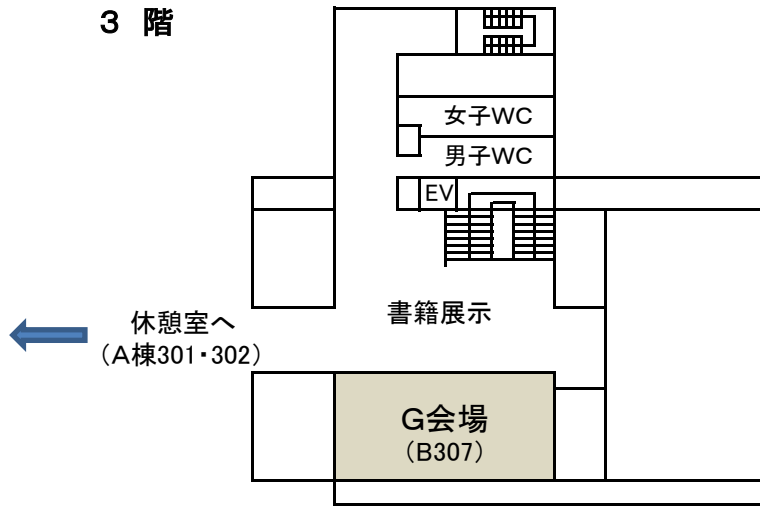
大学教育実践センターB棟

受付
口頭発表(26日午後)
ワークショップ・ポスター発表(27日午前)



会場配置図(大学教育実践センターB棟)

※27日(日)午後の公開シンポジウムは別会場(大阪大学会館)。



お知らせ

◆保育室の設置

本大会では保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、**11月14日(月)までに**保育室担当宛にメールでお申し込みください。

- ・利用可能時間：11月26日(土) 12:40-18:10, 11月27日(日) 9:40-16:10
- ・料金：お子様1人1時間につき500円

◆大会予稿集の販売

大会予稿集は大会当日に受付にて販売します(1部2,000円)。大会前の予約・購入は受け付けていません。

◆懇親会の申し込み

懇親会に参加ご希望の方は大会当日に受付でお申し込みください。参加費は、一般5,000円、学生3,000円を予定しています。

◆車椅子の利用

ご利用希望の方は事前にお申し込みください。申込先：2011gengogakkai@gmail.com (大会実行委員長)

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記し切手を貼った返信用封筒を同封の上、**11月1日(火)(必着)**までに学会事務支局までお申し込みください。

◆大会期間の昼食

26日(土)：昼は学生交流棟カフェ&レストラン「宙(sora)」(懇親会会場)などが営業しています。

(<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/general/welfare.html>)

27日(日)：キャンパス内の食堂は休みです。**各自昼食をご用意ください。**(弁当の販売はありません。キャンパスの外のコンビニ、レストランに行くには時間がかかります。)

◆書籍展示

書籍展示は、大学教育実践センターB棟3階ロビーで行います。

◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用ください。(配布物は当日受付にご持参ください。)

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

大会予稿集および『言語研究』のバックナンバー購入をご希望の方は、「号、購入部数、送付先」を明記の上、学会事務支局までお申し込みください。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金ください。

今大会の予稿集も、大会終了後残部がある場合は、購入が可能です(送料込みで1部2,500円)。

※在庫情報は学会ホームページをごらんいただくか、学会事務局までご連絡ください。

次回大会予告(2012年春季大会：第144回大会)

場 所：東京外国語大学(東京都府中市)

日 程：2012年6月16日(土) 口頭発表

6月17日(日) ワークショップ、ポスター発表、公開シンポジウム

研究発表募集：

- ・**学会ホームページから発表申し込みができます。**

※応募要領は学会ホームページをごらんください。

- ・**発表応募締め切り 2012年3月20日(火)(必着)**

- ・**採否通知 4月中旬**

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacoss.com